

ひきこもりへの認識に関する世論調査結果を踏まえた課題整理と広報の方向性

【調査の目的】

- 都の広報事業における普及啓発内容、ターゲット層の確認検討、広告媒体の選定・開拓など今後の効果的な広報展開等に活用
- 都・区市町村の相談窓口や支援団体等の活動に関する認知度・関心度等を踏まえ、周知方法や情報提供内容の検討等に活用

正しい理解の促進に向けた効果的な普及啓発

■ 調査結果

○ひきこもりの状態について、否定的に捉えている層や共感できない層が一定数存在する

■ 課題

○当事者・家族等を孤立させず、安心してサポートを求めることができるようにするためには、当事者・家族を含めた社会全体に対して、正しい理解の促進に向けた普及啓発が必要

○普及啓発に当たっては、ターゲット層を踏まえた広告媒体を選択するとともに、ニーズに応じた広報内容を検討するなど、効果的な情報発信が求められる。

■ 方向性

広報の内容・手段、ターゲット層を踏まえて、講演会や啓発動画の配信、パンフレット、ポスター、ステッカー等により、効果的に広報していく

相談窓口、支援団体等の効果的な情報発信

■ 調査結果

○ひきこもりに関する相談窓口や関係機関、支援団体等について、あまり認知されていない

■ 課題

○当事者・家族等が、必要な時に必要なサポートを受けるためには、区市町村や都の相談窓口のほか、民間の支援団体等の活動内容等を広く周知していくことが必要

○周知に当たっては、問合せ先やサポート内容等を分かりやすくするとともに、インターネット広告等を活用して相談窓口等を案内するなど、効果的な情報発信が求められる。

■ 方向性

わかりやすく情報を集約したリーフレットの配布やインターネット広告の表示・誘導等により、効果的に広報していく

ひきこもりへの認識に関する世論調査結果を踏まえた広報の方向性

◎当事者や家族等が地域から孤立せず、安心してサポートを求めることができるよう正しい理解への促進に向けた普及啓発や情報発信を効果的に行っていく

●動画の配信

- ・正しい理解の普及に向けた内容の動画を作成し、様々な媒体で発信。ターゲット層の設定も検討。
- ・若年層（学生）や働く世代等を意識し、YouTube、Instagram、トレインチャンネル等の媒体を選定

●新聞広告

- ・正しい理解の普及に向けたわかりやすい内容とする
- ・中高年層等を意識しつつ経営・管理職層へリーチする新聞媒体も選択

R5年度
広告

東京都市ひきこもり相談窓口
東京都ひきこもりサポートネット

ひきこもりは、特別ではない
誰にでもあること。

ひきこもりに関する合同説明相談会を開催します

●ポスター、ステッカーの掲出

- ・正しい理解の普及に向けたわかりやすい内容とする
- ・図書館、薬局、駅、鉄道車両等への掲出を検討

R5年度
広告

つらい時は、誰だって
自分の殻に閉じこもる。

ひきこもりは、特別ではない
誰にでもあること。

ひきこもりに関する合同説明相談会を開催します

●講演会の実施

- ・ひきこもりの状態になる背景・要因や当事者・家族の心境等も交えた講演を実施
- ・より多くの方にオンデマンドで視聴いただけるようオンラインによる配信を実施



●パンフレットの配布

- ・ひきこもりに係る基礎知識、当事者・家族の心情等の内容をまとめたパンフレットを配布
- ・相談先としての「家族」の重要性を踏まえた内容



ひきこもりへの認識に関する世論調査結果を踏まえた広報の方向性

◎当事者や家族等が必要な時に必要なサポートが受けられるよう、区市町村や都の相談窓口のほか、民間支援団体等の活動内容などを効果的に周知していく

●リーフレットの配布

- ・都及び全区市町村の相談窓口、関係機関、民間支援団体等の情報を集約して配布
- ・都と協定を締結している団体（連携団体）の連絡先や活動内容等をわかりやすく掲載

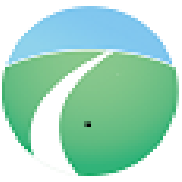


●ディスプレイ広告の配信

- ・Yahoo、Xなどにディスプレイ広告を表示し、それをクリックすることで相談窓口等の情報を周知
- ・ディスプレイ広告の表示について、特にひきこもりに関心のある層にアプローチできる設定を検討

●社会参加等応援事業による情報発信

- ・当事者等の支援の選択肢を広げるため、民間支援団体等を開拓し、団体情報を発信
- ・合同説明相談会において、連携団体等によるサポート内容等のプレゼンテーションを実施



●広報紙への掲載

- ・「広報東京都」等の広報紙等に相談の方法等を掲載する
- ・区報や市報など自治体広報紙への相談窓口の掲載促進を図る

●新聞広告、ポスター掲出（再掲）

- ・正しい理解の普及とともに相談窓口をわかりやすく案内
- ・QRコードにより相談窓口等の情報に誘導

つらい時は、誰だって自分の殻に閉じこもる。

ひきこもりは、特別ではない誰にでもあること。

東京都ひきこもり支援窓口
東京都ひきこもりサポートネット

ひきこもりは、特別ではない誰にでもあること。

東京都ひきこもり支援窓口
東京都ひきこもりサポートネット

つらい時は、誰だって自分の殻に閉じこもる。

ひきこもりは、特別ではない誰にでもあること。

東京都ひきこもり支援窓口
東京都ひきこもりサポートネット

ひきこもりは、特別ではない誰にでもあること。

東京都ひきこもり支援窓口
東京都ひきこもりサポートネット

調査の目的・活用方法

- ◎ ひきこもりに関する普及啓発や支援策等について、都民の認知度、理解度や関心、要望等を把握し、今後の広報、相談支援、区市町村支援等の事業実施に向けた参考とする
- 東京都ひきこもりに係る支援協議会における支援の在り方についての検討等に活用する
- 都の広報事業（インターネット広告、新聞広告、交通広告など）における普及啓発内容、ターゲット層の確認検討、広告媒体の選定・開拓など今後の効果的な広報展開等に活用する
- 都及び区市町村等の相談窓口や支援団体等の活動に関する認知度や関心度等を踏まえ、周知方法や情報提供内容の検討等に活用する

調査項目

設問数は 2 2 問

①ひきこもり等に関する理解・関心について

- ・ ひきこもりのイメージや捉え方について、都民の意識や認知度・理解度等を把握する

②ひきこもりに関する行動意識等について

- ・ 都民がひきこもりの状態を自分事として考えた場合の行動意識等について把握する

③ひきこもりに関する周知・啓発について

- ・ ひきこもりに関する普及啓発について、都民の意識や認知度・関心度等を把握する

④ひきこもりに関する支援について

- ・ ひきこもりに係る支援内容や相談窓口について、都民の意識や認知度等を把握する

⑤都政への要望について

- ・ 都の支援策等に反映できるよう、都民の意識や要望を把握する

(参考) ひきこもりへの認識に関する世論調査結果のポイント

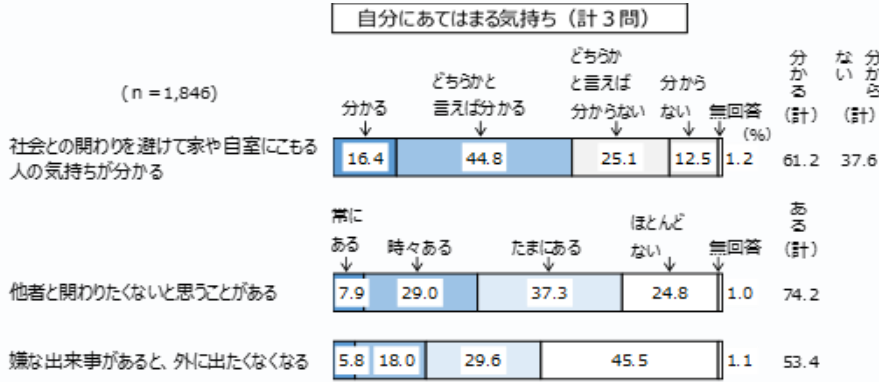
■ ひきこもり等に関する理解・関心

●都民が抱く「ひきこもり」に対するイメージ・認識について聞いたところ、

- ① ひきこもりという状態の印象・考え（いくつでも回答）
「誰にでも起こりうる」72%、「ストレスから身を守っている」41%、
「他人事ではない」40%
- ② ひきこもりの状態になるきっかけ（いくつでも回答）
「不登校（いじめ、学校生活になじめなかった等）」84%、
「職場における人間関係（ハラスメント等）」74%、「病気」48%
- ③ ひきこもりで思い浮かぶ年齢層
「若年層（15～39歳）」48%、「年齢は関係ない」36%、
「児童層（15歳未満）」9%
- ④ ひきこもりで思い浮かぶ性別
「性別は関係ない」62%、「男性」35%、「女性」1%
- ⑤ ひきこもりの状態にあると思う期間
「1か月以上～3か月未満」23%、「期間は関係ない」21%、
「1年以上」17%

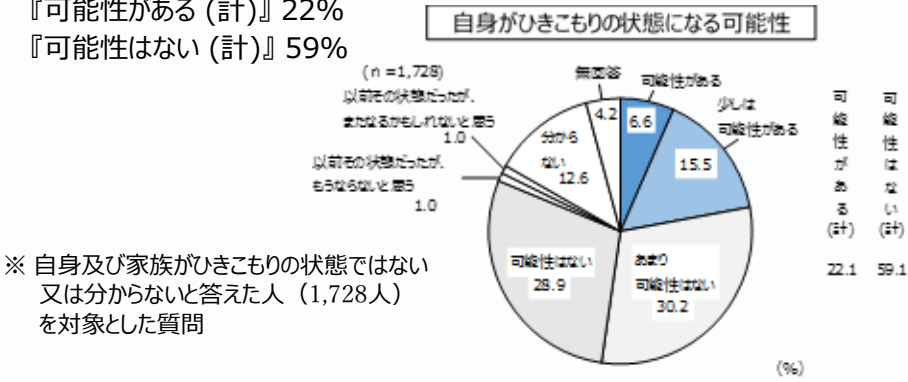
●自分の気持ちにあてはまるものについて聞いたところ、

- ⑥ 自分にあてはまる気持ち（計3問）
 - ▶ 社会との関わりを避け家や自室にこもる人の気持ちが分かる(計)61%
 - ▶ 他者と関わりたくないと思うことがある(計)74%
 - ▶ 嫌な出来事があると、外に出たくなる(計)53%



■ ひきこもりに関する行動意識等

- ⑦ 自身がひきこもりの状態になったとした際の相談先（いくつでも回答）
「家族」49%、「友人・知人」30%、「医療機関」22%
- ⑧ 家族がひきこもりの状態になったとした際の相談先（いくつでも回答）
「家族」51%、「医療機関」34%、「行政機関（地域の自治体）」30%
- ⑨ 自身がひきこもりの状態になる可能性
『可能性がある(計)』22%
『可能性はない(計)』59%



■ ひきこもりに関する周知・啓発／ひきこもりに関する支援

- ⑩ ひきこもりへの理解を深めるために効果的な広報内容（3つまで回答）
「ひきこもりの状態になる背景や要因」62%、
「当事者や家族の実際の生活や心境」44%、「基礎的な情報」32%
- ⑪ ひきこもり支援の認知（いくつでも回答）
「電話相談」38%、「個別相談会」16%、
「当事者団体や家族会での相談・交流（同じ境遇にある人との交流）」15%
- ⑫ ひきこもり相談窓口の認知（いくつでも回答）
「区市町村のひきこもり支援窓口」14%、「医療機関」13%、
「民生委員・児童委員」「東京都ひきこもりサポートネット」12%

■ 都政への要望

- ⑬ ひきこもり支援に関する行政への要望（5つまで回答）
「相談窓口の明確化（窓口情報の発信）」63%、
「当事者・家族への継続的サポート」54%、「適切な支援機関の紹介」53%

ひきこもりへの認識に関する世論調査結果から見えること

◎ひきこもりの状態への印象

- ・ひきこもりの状態に対する印象は「誰にでも起こりうる」「ストレスから身を守っている」「他人事ではない」の順で多数を占めるなど、一定の正しい理解と共感を得ているものと見込まれる。
- ・一方、「病気や障害である」「甘えている」「働かないことが問題」など、否定的に捉えている層も一定数ある。
- ・「甘えている」の回答について、性・年齢別でみると「男性30代」と「男性50代」で、職業別でみると「経営・管理職層」で2割を超えて多い。
- ・また、「働かないことが問題」の回答については、「男性30代」で2割を超えている。

Q：あなたは「ひきこもり」という状態について、どのような印象・考えを持っていますか。

この中からいくつでもお選びください。

	n	こ 誰 り に う で も 起	な 他 い 人 事 で は	が つ あ ら い 経 験	て ら 身 を 守 つ か	甘 え て い る	怠 け て い る	で 病 気 や 障 害	が 親 の 育 て 方	ら 人 に 言 い づ	と 働 か な い こ 題	り 外 に 引 つ 張 る べ き	無 理 に で も 得 意 I T 関 係 が	そ の 他	特 に な い	無 回 答
全体	1,846	71.9	40.0	27.1	41.4	14.6	7.7	34.7	9.8	39.3	13.7	2.7	3.4	5.3	2.4	0.5
<性・年齢別>																
男性（計）	787	70.0	37.9	24.8	38.2	18.4	10.3	35.7	10.7	37.4	14.1	3.3	2.8	4.7	3.4	0.4
18～29歳	86	74.4	39.5	36.0	52.3	15.1	14.0	23.3	5.8	45.3	7.0	4.7	7.0	5.8	3.5	－
30代	102	67.6	46.1	34.3	49.0	22.5	18.6	28.4	9.8	40.2	22.5	2.9	2.0	3.9	1.0	－
40代	126	79.4	46.8	26.2	38.9	16.7	8.7	38.9	11.9	41.3	13.5	3.2	2.4	1.6	0.8	－
50代	155	74.2	44.5	26.5	34.8	22.6	12.9	35.5	9.7	43.2	16.1	5.8	1.9	5.2	2.6	－
60代	125	62.4	27.2	22.4	32.0	16.0	6.4	38.4	13.6	32.0	8.8	1.6	3.2	5.6	3.2	0.8
70歳以上	193	64.8	28.5	14.0	32.6	17.1	5.7	41.5	11.4	28.5	15.0	2.1	2.1	5.7	7.3	1.0
女性（計）	998	73.4	41.9	29.1	44.2	11.6	5.6	34.7	9.2	41.4	13.4	2.1	3.9	5.8	1.4	0.7
18～29歳	95	66.3	38.9	42.1	49.5	11.6	5.3	28.4	9.5	43.2	12.6	3.2	3.2	2.1	2.1	－
30代	123	74.0	44.7	36.6	51.2	12.2	7.3	39.0	9.8	50.4	12.2	2.4	4.9	4.1	0.8	－
40代	171	72.5	39.8	27.5	43.3	11.7	6.4	35.1	10.5	42.1	14.6	1.2	2.9	4.7	0.6	－
50代	216	78.2	39.8	28.7	49.1	7.4	3.7	33.8	7.4	46.3	12.0	2.8	6.9	11.1	1.4	0.5
60代	153	77.1	41.8	24.8	49.7	13.1	5.2	39.2	3.9	40.5	9.2	1.3	3.3	5.9	0.7	0.7
70歳以上	240	70.0	45.0	24.2	31.3	14.2	6.3	32.5	12.9	31.7	17.5	2.1	2.1	4.2	2.5	2.1
<職業別>																
自営・家族従業（計）	186	70.4	38.7	21.5	43.0	17.7	8.1	37.6	14.0	34.4	16.1	3.8	5.4	4.8	3.2	1.6
勤め（計）	1,048	73.9	40.4	28.9	43.4	15.7	9.0	32.8	9.4	42.3	13.7	3.1	3.1	5.2	1.5	0.1
経営・管理職	136	71.3	36.0	23.5	31.6	20.6	11.0	33.1	12.5	39.7	14.0	2.9	－	4.4	2.2	－
専門・技術職	287	73.9	45.6	32.1	49.1	14.6	9.1	33.1	8.7	44.6	11.5	1.7	3.8	5.2	0.3	－
事務職	298	74.5	37.2	30.2	45.0	12.1	6.4	30.5	8.7	44.0	14.1	3.0	3.7	5.0	1.3	－
労務・技能職	102	68.6	30.4	22.5	41.2	19.6	11.8	42.2	7.8	38.2	12.7	3.9	2.9	7.8	3.9	－
販売・サービス職	202	76.7	46.0	28.7	42.1	16.8	10.4	30.2	9.4	43.1	14.9	4.5	3.0	4.5	1.5	0.5
無職の主婦・主夫	339	73.7	43.7	24.2	36.3	11.8	5.3	38.9	9.4	34.5	14.2	1.2	3.5	6.2	2.7	1.2
学生	58	62.1	36.2	37.9	53.4	17.2	8.6	25.9	10.3	46.6	12.1	3.4	8.6	3.4	3.4	－
その他の無職	171	63.7	33.9	24.6	40.9	11.1	4.1	37.4	8.8	35.7	11.1	1.8	1.2	4.7	5.8	0.6

ひきこもりへの認識に関する世論調査結果から見えること

●ひきこもりの状態への共感

- ・「社会との関わりを避けて家や自室にこもる人の気持ち」について、「分かる」と「どちらかと言えば分かる」を合わせた「分かる（計）」は6割を超えている。性・年齢別にみると「男女18～29歳」と「男性30代」で、職業別にみると「学生」でそれぞれ7割を超えている。
- ・一方、「分からない（計）」は、男女とも年齢が上がるにつれて割合が高くなる傾向にある。職業別にみると、経営・管理職層で4割半ば、無職の主婦・主夫層で4割を超えて多くなっている。

Q：
社会との関わりを避けて家や自室に
こもる人の気持ちについて、
あなた自身の気持ちに当てはまるも
のを1つお選びください。

	n	分 か る	分 言 ど か え ち ら か と	分 言 ど か え ち ら ば ら か と	分 か ら な い	無 回 答	（分 か る 計）	（分 か ら な い 計）
全体	1,846	16.4	44.8	25.1	12.5	1.2	61.2	37.6
<性・年齢別>								
男性（計）	787	17.9	43.7	24.3	13.3	0.8	61.6	37.6
18～29歳	86	38.4	33.7	12.8	14.0	1.2	72.1	26.7
30代	102	25.5	48.0	19.6	6.9	—	73.5	26.5
40代	126	19.8	47.6	20.6	11.9	—	67.5	32.5
50代	155	16.1	50.3	24.5	9.0	—	66.5	33.5
60代	125	12.0	45.6	26.4	16.0	—	57.6	42.4
70歳以上	193	8.8	36.8	32.6	19.2	2.6	45.6	51.8
女性（計）	998	14.9	46.3	26.1	11.3	1.4	61.2	37.4
18～29歳	95	26.3	45.3	20.0	8.4	—	71.6	28.4
30代	123	20.3	48.0	20.3	11.4	—	68.3	31.7
40代	171	20.5	48.5	22.2	8.8	—	69.0	31.0
50代	216	10.2	49.5	29.6	10.6	—	59.7	40.3
60代	153	9.2	49.0	30.7	10.5	0.7	58.2	41.2
70歳以上	240	11.7	39.6	27.9	15.4	5.4	51.3	43.3
<職業別>								
自営・家族従業（計）	186	14.0	44.1	26.9	12.4	2.7	58.1	39.2
勤め（計）	1,048	16.8	47.3	24.0	11.7	0.1	64.1	35.8
経営・管理職	136	14.0	41.9	26.5	17.6	—	55.9	44.1
専門・技術職	287	20.2	49.5	22.0	8.4	—	69.7	30.3
事務職	298	13.8	48.7	25.5	11.7	0.3	62.4	37.2
労務・技能職	102	22.5	41.2	19.6	16.7	—	63.7	36.3
販売・サービス職	202	15.3	50.0	24.8	9.9	—	65.3	34.7
無職の主婦・主夫	339	13.3	43.7	27.4	13.6	2.1	56.9	41.0
学生	58	36.2	36.2	15.5	12.1	—	72.4	27.6
その他の無職	171	16.4	39.2	28.7	11.7	4.1	55.6	40.4

ひきこもりへの認識に関する世論調査結果から見えること

◎ひきこもり相談窓口やサポート団体の認知度

・都民が知っている相談窓口・団体は「区市町村のひきこもり支援窓口」「医療機関」「民生委員・児童委員」「東京都ひきこもりサポートネット」等の順となるもののいずれも1割を超える程度である。

・一方、「知っている窓口・団体等はない」とする回答が5割超と多い。また「NPO法人など民間団体」や「家族会」「当事者団体」の認知度は1割を下回っている。

・「知っている窓口・団体等はない」について、性・年齢別でみると、「男性40代」で約7割であり、職業別でみると「経営・管理職層」「学生」で7割近くと多くなっている。

Q：あなたは、ひきこもりに関して相談できる窓口として、どの窓口・団体等を知っていますか。

この中からいくつでもお選びください。

	n	区市町村の支援窓口	医療機関	民生委員・児童委員	東京都ひきこもりサポートネット	地域包括支援センター	社会福祉協議会	保健所	NPO法人・民間団体	生活困窮者自立支援窓口	家族会	当事者団体	精神保健福祉センター	居住地域以外	知らない・ついていない等はない
全体	1,846	13.9	12.6	11.8	11.8	9.5	9.4	9.2	8.9	6.7	6.3	5.4	4.8	1.2	54.7
<性・年齢別>															
男性（計）	787	13.9	11.3	9.7	10.3	8.3	10.5	7.6	7.5	8.3	5.0	4.2	4.3	1.5	59.1
18～29歳	86	9.3	9.3	2.3	7.0	3.5	5.8	9.3	4.7	3.5	1.2	-	5.8	2.3	65.1
30代	102	12.7	11.8	3.9	10.8	4.9	7.8	9.8	12.7	6.9	6.9	7.8	6.9	2.9	64.7
40代	126	14.3	11.1	7.1	9.5	5.6	0.8	4.8	6.3	4.8	4.8	6.3	4.0	0.8	69.8
50代	155	11.0	14.2	4.5	8.4	6.5	6.5	7.7	7.1	7.1	4.5	2.6	4.5	1.9	65.8
60代	125	15.2	12.0	18.4	15.2	11.2	15.2	8.0	8.0	14.4	8.0	5.6	3.2	0.8	49.6
70歳以上	193	17.6	9.3	16.1	10.4	13.5	20.7	7.3	6.7	10.4	4.1	3.1	3.1	1.0	47.2
女性（計）	998	13.9	13.6	13.6	13.0	10.8	8.6	10.3	10.1	5.3	7.4	6.3	5.4	0.9	50.8
18～29歳	95	6.3	9.5	4.2	14.7	7.4	5.3	13.7	6.3	2.1	2.1	1.1	3.2	3.2	62.1
30代	123	8.9	18.7	7.3	9.8	5.7	6.5	14.6	6.5	4.9	4.9	4.1	10.6	0.8	62.6
40代	171	11.7	14.6	8.8	12.3	5.3	7.0	11.7	11.1	5.3	5.8	3.5	5.8	1.2	53.8
50代	216	15.7	12.5	12.5	6.9	11.1	8.8	6.9	12.5	6.5	6.5	7.9	6.0	0.9	56.5
60代	153	11.8	12.4	16.3	16.3	10.5	8.5	13.1	14.4	5.2	9.8	7.2	3.3	0.7	47.7
70歳以上	240	20.8	13.8	23.3	17.9	18.8	12.1	7.1	7.9	5.8	11.3	9.6	4.2	-	35.0
<職業別>															
自営・家族従業（計）	186	12.9	12.9	14.5	10.2	9.1	11.3	10.2	8.6	9.7	4.8	6.5	6.5	2.2	52.7
勤め（計）	1,048	13.4	12.6	9.4	11.0	7.3	8.0	9.2	9.4	5.6	5.1	4.5	4.6	1.3	59.0
経営・管理職	136	8.8	14.0	3.7	5.1	8.1	4.4	3.7	6.6	2.9	3.7	2.2	1.5	1.5	67.6
専門・技術職	287	13.9	15.7	11.5	15.0	6.6	9.8	13.2	12.2	5.6	7.0	6.3	8.0	1.7	55.1
事務職	298	13.4	12.1	11.4	7.0	7.4	7.7	8.4	7.4	8.4	4.4	3.4	4.0	2.0	59.4
労務・技能職	102	15.7	7.8	9.8	9.8	10.8	11.8	7.8	6.9	4.9	3.9	2.9	3.9	-	62.7
販売・サービス職	202	13.9	9.9	6.9	15.8	5.9	5.9	8.4	10.9	4.5	5.0	5.9	3.5	0.5	58.9
無職の主婦・主夫	339	17.1	13.6	18.6	16.2	15.9	10.6	9.7	8.6	6.2	10.0	6.8	4.4	0.9	46.6
学生	58	3.4	5.2	3.4	8.6	5.2	3.4	10.3	6.9	-	1.7	1.7	5.2	1.7	67.2
その他の無職	171	15.8	11.1	11.1	9.9	11.7	15.8	5.3	7.0	10.5	8.8	7.6	4.7	0.6	49.1

ひきこもりへの認識に関する世論調査結果から見えること

●ひきこもりへの理解を深めるための効果的な広報媒体

- ・効果的と思う広報媒体としては、「テレビ」に次いで「インターネット広告」「交通広告」「新聞、雑誌」「広報紙」等の順となっている。
- ・「インターネット広告」が効果的であると回答した層は、男女とも18～29歳で8割を超えている。また職業別でみると「学生」で8割を超え、経営・管理職層等を含む「勤め（計）」で6割半ばとなっていることから、若年層や働く世代に対して有効な手段と考えられる。
- ・「新聞、雑誌」が効果的との回答は年齢が上がるにつれて高い傾向にあり、「交通広告」は、販売・サービス業など働く世代や学生で高い。

Q：
あなたご自身がひきこもりへの関心と理解を深めるためには、どの広報媒体が効果的だと思いますか。

この中から5つまでお選びください。

	n	テレビ	ラジオ	新聞、雑誌記	広報紙	チラシ、リー	ホームページ	インターネット	交通広告	屋外広告	店内広告	その他	特にな	無回答
全体	1,846	68.6	18.2	33.4	23.7	14.3	19.1	52.5	37.2	12.9	15.1	2.1	5.1	0.5
<性・年齢別>														
男性（計）	787	65.7	18.3	32.0	24.5	13.7	21.2	52.1	34.1	12.2	12.8	2.2	6.2	0.1
18～29歳	86	53.5	10.5	12.8	10.5	9.3	17.4	81.4	40.7	15.1	10.5	-	4.7	-
30代	102	56.9	11.8	11.8	7.8	8.8	15.7	72.5	40.2	17.6	16.7	6.9	5.9	-
40代	126	70.6	14.3	19.0	11.9	7.9	26.2	63.5	38.9	15.9	17.5	1.6	4.0	-
50代	155	56.1	16.1	25.2	19.4	14.2	27.7	57.4	41.3	12.9	15.5	1.9	6.5	-
60代	125	70.4	27.2	38.4	32.0	21.6	26.4	44.8	33.6	8.0	11.2	3.2	7.2	-
70歳以上	193	77.2	23.8	61.1	47.2	16.6	14.0	21.2	19.2	7.8	7.8	0.5	7.8	0.5
女性（計）	998	71.8	17.8	34.4	23.3	15.0	17.1	53.5	40.2	14.0	16.9	2.1	3.6	0.8
18～29歳	95	45.3	7.4	12.6	3.2	5.3	13.7	84.2	47.4	21.1	20.0	4.2	2.1	1.1
30代	123	64.2	8.1	13.8	8.9	12.2	14.6	81.3	53.7	22.0	21.1	2.4	4.1	-
40代	171	70.2	12.9	17.0	13.5	12.9	18.7	71.3	47.4	15.2	16.4	4.7	1.8	0.6
50代	216	74.1	15.7	31.5	20.4	20.8	22.7	61.1	45.4	12.0	19.4	0.9	4.2	-
60代	153	79.1	17.6	45.1	32.0	22.9	22.2	44.4	35.9	13.7	11.8	-	3.3	-
70歳以上	240	80.8	32.5	61.7	42.9	11.7	10.4	13.3	23.3	8.3	15.0	1.7	5.0	2.5
<職業別>														
自営・家族従業（計）	186	66.7	23.7	33.3	21.0	15.1	20.4	47.3	36.6	12.4	13.4	1.6	5.9	0.5
勤め（計）	1,048	65.5	13.6	24.3	17.7	12.2	20.7	64.0	43.6	14.8	16.2	2.9	4.0	0.2
経営・管理職	136	63.2	10.3	20.6	16.9	13.2	22.1	61.0	44.1	10.3	16.2	2.2	7.4	-
専門・技術職	287	61.3	15.7	25.1	16.7	11.1	23.3	69.0	44.6	13.2	15.3	4.2	2.1	-
事務職	298	67.4	11.4	23.2	15.1	11.1	18.1	64.8	44.6	15.8	13.1	2.3	4.4	0.7
労務・技能職	102	65.7	15.7	35.3	30.4	16.7	21.6	52.0	32.4	10.8	18.6	1.0	5.9	-
販売・サービス職	202	71.8	15.8	20.8	14.9	11.9	19.8	65.3	47.0	21.3	19.8	3.0	1.5	-
無職の主婦・主夫	339	80.5	28.3	54.6	39.5	21.2	15.3	28.9	25.4	8.8	13.3	0.9	5.3	0.9
学生	58	48.3	3.4	12.1	6.9	12.1	15.5	82.8	48.3	15.5	17.2	-	6.9	-
その他の無職	171	71.9	22.8	50.3	36.8	14.0	18.1	31.6	21.6	10.5	11.7	1.2	9.9	0.6

ひきこもりへの認識に関する世論調査結果から見えること

●ひきこもりへの理解を深めるための効果的な広報内容

・ひきこもりへの理解を深める広報内容として、「ひきこもりの状態になる背景や要因」や「当事者や家族の実際の生活・心境」「基礎的な情報」等の順で効果的であるとしている。

・「ひきこもりの状態になる背景や要因」は、男性40代で7割を超えて多くなっている。「当事者や家族の実際の生活・心境」は、女性（計）で5割近くと男性（計）より7ポイント高く、「偏見や誤解を解消するメッセージ」は男性18～29歳と学生で4割近い。

Q：
あなたご自身がひきこもりへの
関心と理解を深めるためには、
どのような広報内容が効果的
だと思いますか。

この中から3つまでお選びください。

	n	境実 際事 の生 活家 や族 心の	要 因に なる も背 り景 のや	態 なこ もツ 解セ ー解	ジ消 す見 るや メ誤 ッ解 セを ー解	偏 見 の誤 解を ー解	の相 紹談 介・ 支 援機 関	想 い実 援員 の対 相 談 や員	ら のメ ッ セ ー ジ か	の あ き こ も り の 経 験	報 す ひ き こ も り の 基 礎 的 な 情 報	そ の 他	特 に な い	無 回 答
全体	1,846	43.6	61.6	23.7	29.7	19.0	29.0	31.9	0.8	6.1	0.7			
<性・年齢別>														
男性（計）	787	40.3	63.3	24.1	27.6	17.8	28.7	33.2	1.0	6.6	0.5			
18～29歳	86	32.6	65.1	39.5	18.6	14.0	30.2	23.3	-	5.8	-			
30代	102	50.0	63.7	24.5	16.7	25.5	26.5	-	4.9	-				
40代	126	50.8	71.4	27.0	11.1	33.3	29.4	1.6	4.0	-				
50代	155	41.9	55.5	25.2	28.4	20.0	28.4	31.0	1.9	5.8	-			
60代	125	32.0	64.8	18.4	21.6	21.6	32.0	44.8	0.8	8.0	0.8			
70歳以上	193	35.8	62.2	18.1	32.6	20.2	24.9	37.8	1.0	9.3	1.6			
女性（計）	998	46.8	60.9	23.1	32.0	19.9	30.1	31.5	0.7	4.6	0.8			
18～29歳	95	52.6	55.8	29.5	26.3	9.5	31.6	25.3	-	5.3	1.1			
30代	123	44.7	65.9	27.6	31.7	16.3	30.9	27.6	1.6	4.1	-			
40代	171	45.0	63.2	26.9	33.9	19.3	29.8	34.5	0.6	3.5	-			
50代	216	46.3	60.2	20.4	35.6	24.1	31.9	32.4	0.5	4.6	0.5			
60代	153	57.5	62.7	21.6	30.7	20.3	34.0	37.9	0.7	3.3	-			
70歳以上	240	40.4	58.3	19.2	30.4	22.5	25.0	28.8	0.8	6.3	2.5			
<職業別>														
自営・家族従業（計）	186	39.2	58.6	19.9	28.0	17.7	33.3	28.0	1.1	8.6	2.2			
勤め（計）	1,048	45.2	63.5	25.4	29.3	19.8	30.3	31.7	0.8	5.2	0.1			
経営・管理職	136	37.5	60.3	26.5	27.9	18.4	29.4	36.0	0.7	7.4	-			
専門・技術職	287	46.0	65.9	29.3	29.3	20.6	30.3	32.1	0.3	3.1	-			
事務職	298	44.0	67.1	24.8	31.2	22.5	32.2	29.9	1.0	2.7	0.3			
労務・技能職	102	53.9	59.8	18.6	33.3	20.6	33.3	25.5	-	8.8	-			
販売・サービス職	202	48.0	59.9	23.8	26.2	15.8	28.7	34.2	1.5	6.9	-			
無職の主婦・主夫	339	46.0	55.5	21.5	35.1	19.8	28.6	33.6	0.6	5.3	0.9			
学生	58	37.9	60.3	36.2	20.7	6.9	25.9	29.3	-	5.2	-			
その他の無職	171	36.8	67.8	18.7	28.7	17.0	24.0	35.1	1.8	8.2	0.6			